

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	基礎看護学実習 I	2	60	1年次 ・ 2学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)			
授業概要	<p>金沢医療センターで患者を受け持ち、患者との関係性を取り入院前、入院中の患者の生活を捉える。また、生活者として入院患者を理解するため、在宅扱いとなる施設や住まいなど生活環境を見学する。そして、患者とその生活を支援する看護の役割を幅広く理解する。患者の基本的欲求の充足状況や患者の健康や入院生活に対する思いを捉え、患者の健康の維持・回復にむけ患者の指導者とともに患者の生活を整える看護行為を体験し生活を整える必要性を見出す。</p>			
	授業内容			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象・看護学生との関係を形成できる 2. 対象を生活者として捉えることができる 3. 対象の生活を整える必要性がわかる 4. 対象の生活を整える看護行為がわかる 			
自己学習	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	基礎看護学実習Ⅱ	2	90	1年次 ・ 2学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)			
授業概要	<p>金沢医療センター・医王病院で患者を受け持つ。患者の健康と生活を捉え健康の維持・回復にむけ必要な支援を見出す。患者の問題を解決するために、患者に合わせた支援を実施する。患者の反応を捉え期待した効果が得られたか実施した支援を評価し次の支援につなげるという看護の基本的な思考過程を用いて患者に安全・安楽・自立/自律を考慮した日常生活支援を行う。</p>			
	授業内容			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の健康と生活を捉えることができる。 2. 健康の維持・回復にむけ、対象の生活を整える必要性を考える。 3. 対象の問題を解決するために日常生活支援を計画する。 4. 対象の意思をふまえ、健康の維持・回復にむけた日常生活支援を実施する。 5. 専門職業人を目指すものとして自らの課題を明確にし、課題解決に向けて努力する。 			
自己学習	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	地域・在宅看護論実習 I	1	45	2年次 ・ 1学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)			
授業概要	障害を抱え療養生活を送っている対象と家族を生活者として捉え、その人らしい生活を支える看護と支援体制を理解する。また、人間の尊厳 (生活の質・生命の質・人生の質) を考える機会とする。			
回数	授業内容			担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害を抱え療養生活を送っている対象と家族の生活を捉える。 2. 障害を抱え療養生活を送っている対象と家族の生活を支える必要性を理解する。 3. 対象への生活援助を通して対象と家族の意思を尊重した看護実践について考える。 4. 障害を抱え療養生活を送っている対象と家族のその人らしい生活を支えるための医療・看護・福祉の役割・連携について理解する。 			
関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90	3年次
担当講師	専任教員（保健師、健康福祉センター勤務経験あり）			
授業概要	<p>地域で療養し生活している対象を理解し、地域包括ケアシステムの中で、対象が在宅生活を継続する為の看護支援を学ぶ。訪問看護は、1名の受け持ち療養者を含めた複数の療養者の訪問に同行し、療養者とその家族が地域で生活し続ける為の支援について学ぶ。地域包括支援センターでは、地域の高齢者の健康と安全な生活に向けての支援について学ぶ。居宅介護支援センターでは、要介護認定を受けた高齢者とその家族の健康と安全な生活に向けての支援について学ぶ。金沢医療センターは、入退院支援センター・地域連携室で働く職種と同行し、入退院支援について学ぶ。</p>			
回数	授業内容			担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅で生活する対象とその家族について多面的・統合的に捉える。 2. 地域・在宅で生活する対象とその家族のその人らしい生活の継続を支援するための訪問看護の実際を体験から学ぶ。 3. 地域・在宅で生活する対象とその家族の QOL を支える地域包括ケアシステムの実際を理解する。 4. 地域・在宅で生活する対象とその家族の QOL を支えるための多職種連携における看護師の役割について考えを深める。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	老年生活援助実習	2	60	2年次 ・ 1学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)			
授業概要	加齢に伴う変化や発達段階の特徴を知り、尊厳ある支援の在り方と健やかな老いを支えるものを学ぶ。また、離用者の状態を考慮したレクリエーションや通所サービスの場も体験し、在宅生活を継続するための支援について考える。			
回数	授業内容			担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者が生きてきた過程に思いを寄せ、敬意をもって関わる。 2. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的機能の変化を把握する。 3. 加齢に伴う変化や健康上の課題が生活に及ぼす影響を把握する。 4. 高齢者の生活機能に着目し、もてる力を活かした生活支援の必要性が分かる。 5. 高齢者に起こり得る危険を予測する。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人・老年看護学実習 I	2	90	2年次
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり）			
授業概要	慢性期にある成人・老年期の対象の特徴を理解し、健康課題を持ちながらその人らしい生活を継続するための看護を学ぶ。			
回数	授業内容			担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性的な経過をたどる成人・老年期の対象の身体的・精神的・社会的特徴が理解する。 2. 慢性的な経過をたどる対象の病態や治療とその影響について理解する。 3. 対象の自己観・価値観・生活史を尊重し、対象と関わる。 4. 成人期・老年期の対象および家族が健康課題に向きあうための支援が実施する。 5. 健康課題を持ちながらも、その人らしく過ごせるよう、生活の質の維持・向上に向けて援助する。 6. その人らしい生活を継続するための多職種連携・協働が理解する。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人・老年看護学実習Ⅱ	2	90	3年次
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり）			
授業概要	急性期にある対象の特徴を理解し、生命維持と苦痛緩和にむけての看護を学ぶ。			
回数	授業内容			担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急激な健康障害を発症した成人・老年期にある対象の身体的・精神的・社会的状況を把握する。 2. 急性期にある成人・老年期の対象が治療・検査によって受けている影響を把握する。 3. 急性期にある成人・老年期の対象の苦痛緩和や回復促進に必要な支援を判断する。 4. 急性期にある成人・老年期の対象の社会生活への復帰に向け、対象の変化に対応した日常生活の支援を実践する。 5. 急性期にある成人・老年期の対象の家族への支援を理解する。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人・老年看護学実習Ⅲ	2	90	2年次
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり）			
授業概要	終末期にある対象を全人的に理解し、対象の意思を尊重し、最期の時までその人らしく生きることを支える看護を学ぶ。			
回数	授業内容			担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人生の最期を過ごす成人・老年期・対象の特徴を全人的に捉える。 2. 4つの側面（身体的・精神的・社会的・スピリチュアル）が複雑に絡み合う成人期・老年期の対象の全人的苦痛を捉える。 3. 成人期・老年期の対象の意思を尊重し、QOLを高める支援をする。 4. 人生の最期を過ごす成人期・老年期の対象という家族に対する支援を考える。 5. 対象とその家族を支える多職種連携・協働を理解する。 6. 対象への看護実践を通して自己の死生観を考える。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	母性・小児看護学実習	4	150	3年次
担当講師	専任教員（助産師・病院での看護経験あり）			
授業概要	育成期にある人々、妊産褥婦と新生児およびその家族、子どもとその家族について理解し、それぞれの立場と対象者に適した看護を学ぶ。			
	授業内容			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 育成期にある人々の特徴について理解する。 2. 育成期にある人々に必要な支援を見出すことができる。 3. 育成期にある人々と必要な支援を理解する。 4. 育成期にある人々への継続看護における看護師の役割を考える。 5. 生命の尊厳について考え、家族の発達にむけた看護を熟考する。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	母性・小児看護学実習 実習評価表に準ずる			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	精神看護学実習	2	90	3年次
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり）			
授業概要	こころの健康障害のために生きにくさを抱えている対象に治療的に関わり、対象の回復を促進するための看護を学ぶ。			
	授業内容			担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象と相互関係にある自己を洞察しながら、対象との治療的関係を形成する。 2. こころの健康障害を持つ対象に関心を寄せ、ありのままを理解する。 3. 対象の生活上の困難・課題を見出し支援する。 4. こころの健康障害を持つ対象の回復を促進する環境を考える。 5. 地域で暮らす対象の生活を知り、社会参加支援のあり方を考える。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	実習要項参照			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門	総合実習 I	2	60	3 年次 ・ 2 学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)			
授業概要	同行実習により、看護師の実践を観察することで、看護師らしい思考・判断のプロセスを考える。また、看護師の思考発話から、自らの思考・判断の違いを認識する。さらに、学生自身が既習の知識・技術・態度を統合し、場に応じた看護実践を行い、自らの実践がどのような臨床判断に基づいて行なったのかりフレクションを行う。			
	授 業 内 容			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の状況を把握し、対象に起きている事象に気づく。 2. 対象に起きている事象を推論・解釈し、対象に最善な看護支援を考える。 3. 対象に関心を向け、事象や状況に応じて看護を実践する。 4. 看護実践による対象の反応を振り返り、対象にとって最善であったかを臨床判断モデルをもとに評価する。 5. 看護専門職業人としてよりよい看護の探求のために研鑽し続ける。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	総合実習 I 評価表に準ずる			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	総合実習Ⅱ	2	90	3年次 ・ 2学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)			
授業概要	既習の知識・技術・態度を統合し、看護チームの一員として看護を実践する体験を通して、看護実践能力を高める。探求的学習姿勢を身につけ、職業人としての資質を養う。			
	授業内容			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 質の高い看護を提供するための看護管理のあり方を理解する。 2. 看護チームにおけるリーダー、メンバーの役割を理解し、メンバーとしての自己の役割を果たす。 3. 複数の対象の看護ケアのマネジメントを行う。 4. 多職種との連携・協働の中から、医療チームの一員としての看護師の役割を理解する。 5. 看護専門職業人としてよりよい看護の探求のために研鑽し続ける。 			
自己学習 関連科目	実習要項参照			
テキスト	実習要項参照			
参考図書	実習要項参照			
評価方法	総合実習Ⅱ評価表に準ずる			